

フジコナカイガラムシ（カキ）の防除適期予測

1 防除対象

フジコナカイガラムシ（カキ）第1世代若齢幼虫

2 予測ふ化盛期

6月19日～6月27日

3 対象地域

下伊那地域（標高400～700m）

4 予測防除適期

1回目は表1の予測ふ化盛期から1週間以内

2回目は表1の予測ふ化盛期から約4週間後

5 2025年の予測

本年のフェロモントラップによる越冬世代のフジコナカイガラムシ雄成虫の捕獲盛期は5月21日から26日であった。捕獲盛期と過去10年の日平均気温の平均値から予測されるフジコナカイガラムシの第1世代のふ化盛期は、6月19日から6月27日である（表1）。

昨年に比べフジコナカイガラムシ雄成虫の捕獲数が少なく捕獲盛期が不明瞭であった。標高400mの座光寺での予測ふ化盛期は昨年とほぼ同じとなったが、他の2地点は昨年より遅い予測になっている。気温が高く推移すれば発生時期は前進し、逆に気温が低く推移すれば座光寺でも発生時期が遅れる可能性があるので注意する。

表1 フジコナカイガラムシの生育予測

調査地点	飯田市座光寺	南信農業試験場	高森町牛牧
標高	400m	560m	680m
越冬世代の雄成虫の捕獲盛期	5月21日	5月26日	5月26日
予測 ふ化盛期	6月19日	6月25日	6月27日

6 防除のポイント

フジコナカイガラムシのふ化は、予測ふ化盛期から長期間続く。ふ化前の卵の状態や、幼虫の生育が進むと防除効果が低いので、1～2齢の若齢幼虫期に防除を実施する。

ふ化して間もない幼虫が多い予測ふ化盛期に1回目の防除を行い、その約3～4週間後に2回目の防除を行うとよい。